

信州大学医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科および  
腫瘍内科に通院中または過去に通院・入院された患者様または  
ご家族の方へ

**「進行胸腺癌に対するレンバチニブ投与症例の後方視的検討」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	進行胸腺癌に対するレンバチニブ投与症例の後方視的検討
所属(診療科等)	信州大学医学部内科学第一教室
研究責任者(職名)	立石一成(特任講師)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	進行胸腺癌に対するレンバチニブの有効性および毒性の特徴について明らかにすることを目的とした研究で、適切な治療法の確立に貢献すると考えられます。
対象となる方	2021年3月1日から2024年12月31日の期間に当院で進行胸腺癌と診断されレンバチニブによる治療を受けられた方
利用する診療記録	性別、年齢、身長、体重、喫煙の有無、癌の特徴、広がり、レンバチニブによる治療期間、治療内容、副作用など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、レンバチニブによる治療と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):立石一成 内科学第一教室・特任講師 電話:0263-37-2631

**診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。